
【NITEケミマガ】NITE化学物質管理関連情報 第225号
2014/12/17配信

本メールマガジン【NITEケミマガ】（NITE化学物質管理関連情報）は、化学物質管理に関連するサイトの新着情報、報道発表情報等を配信するサービスです。

原則として、毎週水曜日に配信いたします。

連絡先： chem-manage@nite. go. jp

----- 12/8～12/14の更新情報 -----

●官報情報

【2014/12/10】

- ・水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の一部を改正する件
(環境一三一)

→ <http://kanpou.npb.go.jp/20141210/20141210h06432/20141210h064320008f.html>

標記告示が掲載された。

【2014/12/10】

- ・水質汚濁に係る農薬登録保留基準の一部を改正する件(環境一三二)

→ <http://kanpou.npb.go.jp/20141210/20141210h06432/20141210h064320008f.html>

標記告示が掲載された。

【2014/12/10】

- ・フロン類算定漏えい量等の報告等に関する命令(内閣府・総務・法務・外務・財務・文部科学・厚生労働・農林水産・経済産業・国土交通・環境・防衛二)

→ <http://kanpou.npb.go.jp/20141210/20141210g00275/20141210g002750002f.html>

標記告示が掲載された。

【2014/12/10】

- ・特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律施行規則の全部を改正する省令(経済産業・環境七)

→ <http://kanpou.npb.go.jp/20141210/20141210g00275/20141210g002750010f.html>

標記告示が掲載された。

【2014/12/10】

- ・フロン類の使用の合理化及び特定製品に使用されるフロン類の管理の適正化に関する指針を定める件(経済産業・国土交通・環境八七)

→ <http://kanpou.npb.go.jp/20141210/20141210g00275/20141210g002750042f.html>

標記告示が掲載された。

【2014/12/10】

- ・第一種特定製品の管理者の判断の基準となるべき事項を定める件
(経済産業・環境一三)

→ <http://kanpou.npb.go.jp/20141210/20141210g00275/20141210g002750044f.html>

フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律の第十六条第一項の規定に基づき標記告示が掲載された。

【2014/12/12】

・危険物船舶運送及び貯蔵規則及び海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律施行規則の一部を改正する省令(国土交通九三)

→ <http://kanpou.npb.go.jp/20141212/20141212g00278/20141212g002780001f.html>

標記告示が掲載された。

●経済産業省・厚生労働省・環境省

【2014/12/11】

・平成27年度第1回少量新規化学物質の申出についてお知らせを掲載いたしました。

経済産業省→

http://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/kasinhou/todoke/shinki_shoryo_index.html

環境省→ <http://www.env.go.jp/chemi/info/tetsuzuki.html>

厚生労働省→

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iyakuhin/topics/tp130509-1.html

標記お知らせが掲載された。

申出期間は平成27年1月20日(火)から1月30日(金)まで。

●経済産業省・環境省

【2014/12/08】

・水銀に関する水俣条約対応検討小委員会(第5回)の開催について

→ <http://www.env.go.jp/press/19005.html>

12月19日に標記会合が開催される。議題は、

- ・合同会合報告書(案)に関する意見募集(パブリックコメント)の結果について
- ・その他 など。

【2014/12/10】

・特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律の一部を改正する法律に係る関係省令等の公布及び意見公募(パブリックコメント)の結果について

→ <http://www.env.go.jp/press/19025.html>

標記お知らせが掲載された。

●経済産業省

【2014/12/11】

・産業構造審議会製造産業分科会化学物質政策小委員会第7回フロン類等対策ワーキンググループ開催通知

→

<https://www.meti.go.jp/interface/honsho/committee/index.cgi/committee/9485>

- 12月19日に標記会合が開催される。議題は、
- (1) 新たな産業界の自主行動計画の策定状況及び2013年における取組状況について
 - (2) 指定製品制度の今後の運用等について
 - (3) 指定製品等に係るラベリング制度の検討状況について
 - (4) フロン排出抑制法の施行に向けた対応について
 - (5) その他 など。

●厚生労働省

【2014/12/10】

- ・石綿に係る疾病の業務上外に関する検討会 第92回検討会 開催案内
- <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000068079.html>

12月17日に標記会合が開催される(非公開)。議題は、個別労災請求事案に係る医学的事項についてなど。

【2014/12/10】

- ・第86回労働政策審議会安全衛生分科会
- <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000067937.html>

12月17日に標記会合が開催される。議題は、

- (1) 労働安全衛生規則の一部を改正する省令案要綱について(諮問)
- (2) 新規化学物質の有害性の調査結果について
- (3) 第12次労働災害防止計画の実施状況について(追加報告)
- (4) ストレスチェック制度に関する検討結果について
- (5) じん肺部会の委員数変更について

●国立医薬品食品衛生研究所(NIHS)

【2014/12/08】

- ・EUリスク評価書の原文サイトリンクを変更しました。
- <http://www.nihs.go.jp/hse/chem-info/euindex.html>

標記資料のうち、以下の物質についてリンクが変更された。

- ・EDTA四ナトリウム
- ・ブタ-2-イン-1,4-ジオール [ブチンジオール]
- ・4-tert-ブチル安息香酸
- ・メタクリル酸メチル

【2014/12/10】

- ・食品安全情報(化学物質) No. 25(2014)を掲載しました。
- <http://www.nihs.go.jp/hse/food-info/foodinfonews/2014/foodinfo201425c.pdf>

標記資料が掲載された。食品の安全性に関する国際機関や各国公的機関等の最新情報が紹介されている。

●環境省

【2014/12/08】

- ・平成26年度光化学オキシダント調査検討会(第2回)の開催について
- <http://www.env.go.jp/press/19012.html>

12月24日に標記会合が開催される。議題は、
(1) シミュレーション解析の結果について
(2) 今後の予定

【2014/12/08】

・ 中央環境審議会環境保健部会化学物質評価専門委員会(第20回)の開催について
→ <http://www.env.go.jp/press/19014.html>

12月24日に標記会合が開催される。議題は、
(1) 化学物質環境実態調査(平成25年度調査結果等)について
(2) 化学物質の環境リスク初期評価(第13次取りまとめ)について
(3) その他

【2014/12/10】

・ 水質汚濁に係る農薬登録保留基準値(案)に対する意見募集の実施結果について
→

<http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=195140035&Mode=2>

標記意見募集の結果が掲載された。本件に係る意見の提出は0件だった。

【2014/12/10】

・ 水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準値(案)に対する意見の募集について
→

<http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=195140034&Mode=2>

標記意見募集の結果が掲載された。本件に係る意見の提出は0件だった。

● 中小企業基盤整備機構

【2014/12/12】

・ [J-NET21]REACHコラム：EU加盟国における製品含有化学物質関連規制の市場調査等の状況(スウェーデンの例)
→ <http://j-net21.smrj.go.jp/well/reach/column/141212.html>

標記コラムが掲載された。

【2014/12/12】

・ [J-NET21]RoHS Q&A:Q.443 金属クロムを含む金属を溶接した際、その溶接ヒュームに六価クロムが含まれるという話を聞きました。このような場合、非含有をどのように担保すればよいでしょうか。
→ <http://j-net21.smrj.go.jp/well/rohs/qa/443.html>

標記Q&Aが掲載された。

● 農林水産消費安全技術センター(FAMIC)

【2014/12/11】

・ [メールマガジン] バックナンバーに第562号を掲載しました。

→ http://www.famic.go.jp/mail_magazine/backnumbers/No562.pdf

標記資料が掲載された。

●海外環境協力センター(OECC)

【2014/12/12】

- ・中国環境情報11月号を掲載しました。
- <http://www.oecc.or.jp/contents/china/index.html>

標記情報が掲載された。内容は、中国政府(国務院、環境保護部)の環境政策の動き、地方(地方政府等)の環境情報、など。

●化学物質評価研究機構(CERI)

【2014/12/09】

- ・CERI ChemSafe 12月号に更新しました。

→

http://www.cerij.or.jp/service/10_risk_evaluation/reach_news/CERI_ChemSafe_201412.pdf

標記お知らせが掲載された。化学物質管理に関する国内外の動向について掲載されている。

●経済協力開発機構(OECD)

【2014/12/08】

- ・Adverse Outcome Pathways wiki beta version has been launched

→

<http://www.oecd.org/env/ehs/testing/adverse-outcome-pathways-molecular-screening-and-toxicogenomics.htm>

OECDは、AOP(Adverse Outcome Pathway)のITツールAOP Wikiのベータ版を公開した。

【2014/12/08】

- ・Version 3.3 of the OECD QSAR Toolbox
- <http://www.oecd.org/env/ehs/risk-assessment/theoecdqsartoolbox.htm>

OECDは、QSAR Toolbox Version3.3をリリースした。

【2014/12/08】

- ・Client-Server Configuration Manual: QSAR Toolbox Version 3.3

→

<http://www.oecd.org/env/ehs/risk-assessment/Toolbox%20%20%20Client-Server%20configuration%20manual.pdf>

OECDは、QSAR Toolbox Version3.3のクライアント・サーバーの環境設定に関するマニュアルを公開した。

●欧州化学品庁(ECHA)

【2014/12/09】

- ・ New CLH consultations launched on two biocide active substances

→

<http://echa.europa.eu/harmonised-classification-and-labelling-consultation>

新しくCLH(調和化された分類・表示)案が公開されたのは、以下の農薬活性成分2物質。

- ・ 4,4'-methylenedimorpholine (CAS No. 5625-90-1)
- ・ Reaction products of paraformaldehyde and 2-hydroxypropylamine (ratio 3:2)

コメント提出期限は、2015年1月23日。

【2014/12/09】

- ・ 殺生物性製品委員会 (BPC) が8つの意見を採用した。

→

http://echa.europa.eu/view-article/-/journal_content/title/the-biocidal-products-committee-adopts-8-opinions

以下の物質と製品 (PT:Product Type) について意見が採用された。

- ・ Hexaflumuron (PT18)
 - ・ iodo-2-propynyl butyl carbamate (IPBC) (PT13)
 - ・ Propiconazole (PT7)
 - ・ 5-Chloro-2-(4-chlorophenoxy)-phenol (DCPP) (PTs 1, 2 and 4)
 - ・ Potassium sorbate (PT8)
 - ・ Pythium oligandrum M1 (PT10)
 - ・ piperonyl butoxide (PBO) (PT18)
-

【2014/12/10】

- ・ New consultations on SEAC's draft opinions on restriction proposals for cadmium and its compounds in artists' paints and chrysotile

→ <http://echa.europa.eu/restrictions-under-consideration>

ECHAは以下の2物質について、制限提案に対する社会経済分析専門委員会 (SEAC) の意見草案について、パブリック・コンサルテーションを開始した。

- ・ Artist Paint中に含まれるカドミウム及びカドミウム化合物
- ・ クリソタイル(石綿)

コメント提出期限は、2015年2月8日。

【2014/12/10】

- ・ ECHA e-News - 10 December 2014

→

http://echa.europa.eu/view-article/-/journal_content/title/echa-e-news-10-december-2014

ECHAは、12月10日付けでe-Newsを掲載した。

【2014/12/10】

- ・ The Public Activities Coordination Tool (PACT) が更新された。

→

<http://echa.europa.eu/addressing-chemicals-of-concern/substances-of-potential-concern/svhc-roadmap-implementation-plan/pact>

以下の13物質のRMOA(Risk Management Option Analysis:リスク管理のオプション分析)の情報が更新された。

- ・ UV-P (EC 219-470-5)
- ・ UV-329 (EC 221-573-5)
- ・ UV-327 (EC 223-383-8)
- ・ UV-326 (EC 223-445-4)
- ・ UV-350 (EC 253-037-1)
- ・ UV-234 (EC 274-570-6)
- ・ UV-928 (EC 422-600-5)
- ・ tributyl citrate(EC 201-071-2)
- ・ tributyl 0-acetylcitrate(EC 201-067-0)
- ・ terephthalic acid(EC 202-830-0)
- ・ methyl salicylate(EC 204-317-7)
- ・ 2,6-di-tert-butyl-p-cresol (BHT; EC 204-881-4)
- ・ 1,2-benzenedicarboxylic acid, di-C6-10-alkyl esters(EC 271-094-0)

【2014/12/10】

- ・ ECHA publishes updated Guidance on Biocidal Products Regulation: Volume V Guidance on Active Substances and Suppliers(Article 95 list)
→ <http://echa.europa.eu/guidance-documents/guidance-on-biocides-legislation>

ECHAはBPR(殺生物性製品)規則のガイダンスのうち、Volume V 活性成分及びサプライヤーに関するガイダンス(第95条リスト)を更新し公開した。

【2014/12/11】

- ・ The Committee for Risk Assessment adopts 23 opinions for harmonised classification and labelling

→

http://echa.europa.eu/view-article/-/journal_content/title/the-committee-for-risk-assessment-adopts-23-opinions-for-harmonised-classification-and-labelling

ECHAのリスク評価専門委員会は、CLH(調和化された分類・表示)に関する23の意見を採択した。

<詳細>→ http://echa.europa.eu/documents/10162/21774240/Annex_RAC31B_CLH.pdf

【2014/12/11】

- ・ ECHAのニューズレター12月号が掲載された。

→

http://newsletter.echa.europa.eu/documents/6362380/21743968/newsletter_2014_issue_6_december_en.pdf

【2014/12/12】

- ・ The Member State Committee unanimously agreed to identify the phthalate DEHP as an SVHC because of its endocrine disrupting properties in the environment

→

http://echa.europa.eu/view-article/-/journal_content/title/the-member-state-committee-unanimously-agreed-to-identify-the-phthalate-dehp-as-an-svhc-because-of-its-endocrine-disrupting-properties-in-the-environm

加盟国委員会(MSC)は、DEHPを内分泌かく乱作用のある物質としてSVHCとすることを満場一致で合意した。なお、同時にSVHCへの登録が提案されていたDBP、DiBP、BBPについては合意にいたりず、提案国であるデンマークは提案を取り

下げた。

【2014/12/12】

- ・ Draft updated text of the Guidance on the compilation of safety data sheets (version 3.0) sent for PEG consultation

→

<http://echa.europa.eu/support/guidance/consultation-procedure/ongoing-reach?panel=sds3>

REACH規則における安全性データシート (SDS) の編集に関するガイダンス ver. 3.0 がPEG (Partner Expert Group) のコンサルテーションに送付された。

【2014/12/12】

- ・ ECHA calls for information to avoid unnecessary animal testing
- <http://echa.europa.eu/information-on-chemicals/testing-proposals/current>

ECHAは不必要な動物試験を回避するため、11物質16項目に関する情報の提出を要請した。コメントの提出期限は、2015年1月26日。

- ・ (no public substance name available) (EC No. 916-916-7)
- ・ 1, 1, 1, 3, 5, 5, 5-heptamethyl-3-[(trimethylsilyl)oxy]trisiloxane (CAS No. 17928-28-8)
- ・ 1, 1, 4, 4-tetramethylbutane-1, 4-diyl bis(2-ethylperoxyhexanoate) (CAS No. 13052-09-0)
- ・ 3-Isocyanatomethyl-3, 5, 5-trimethylcyclohexyl isocyanate, oligomers, reaction products with 2-butanone oxime (CAS No. 103170-26-9)
- ・ chlorodimethylvinylsilane (CAS No. 1719-58-0)
- ・ Hexamethylene diisocyanate, oligomerisation product, blocked with 3, 5-dimethyl-1H-pyrazole (CAS No. 163206-31-3)
- ・ N, N'-(methylenedi-p-phenylene)bis[hexahydro-2-oxo-1H-azepine-1-carboxamide] (CAS No. 54112-23-1)
- ・ N, N'-bis(2, 2, 6, 6-tetramethyl-4-piperidyl)isophthalamide (EC No. 419-710-0)
- ・ N-(dimethylvinylsilyl)-1, 1-dimethyl-1-vinylsilylamine (CAS No. 7691-02-3)
- ・ Reaction mass of Amines, coco alkyl and beta-Alanine, N-(2-carboxyethyl)-, N-coco alkyl derivs. and beta-Alanine, N-coco alkyl derivs (EC No. 915-790-0)
- ・ Reaction mass of ethoxylated (>=3 moles) bisphenol A dimethacrylate and (1-methylethylidene)bis(4, 1-phenyleneoxy-2, 1-ethanediyl) bismethacrylate (EC No. 939-702-5)

●欧州化学物質生態毒性・毒性センター (ECETOC)

【2014/12/10】

- ・ Report on the RSC Low Doses Endocrine Disrupter Effects Workshop

→

<http://www.ecetoc.org/index.php?mact=Newsroom,cntnt01,details,0&cntnt01documentid=268&cntnt01dateformat=%25d-%25m-%25Y&cntnt01returnid=76>

6月4日に開催された、RSC (Royal Society of Chemistry) の低用量の内分泌かく乱物質の影響に関するワークショップの資料が掲載された。

●米国環境保護庁 (US EPA)

【2014/12/08】

- ・ EPA announces the availability of the Libby Amphibole Asbestos IRIS Assessment in a December 8, 2014 Press Release. In addition, a fact sheet and frequently asked questions are also available.

→

<http://yosemite.epa.gov/opa/admpress.nsf/bd4379a92ceceecac8525735900400c27/1e9c0f8da160e4a485257da80064dc81!OpenDocument>

米国EPAは、モンタナ州のLibbyで産出された角閃石アスベストの最終版の有害性評価書及びリスク評価書を公表した。評価の結果、EPAによる除去対策により、該当地区における発がん及び非発がんリスクは低減された。

【2014/12/10】

- ・ EPA Takes Action to Protect Consumers from Harmful Chemicals that can Cause Reproductive and Developmental Harm

→

<http://yosemite.epa.gov/opa/admpress.nsf/596e17d7cac720848525781f0043629e/529b9c0698c8f83885257daa00646913!OpenDocument>

最終SNUR→

http://www.epa.gov/oppt/existingchemicals/pubs/prepublicationnotice_2014-12-10.pdf

米国EPAは、消費者の健康を守るため、エチレングリコールエーテル7物質に対し、重要新規利用規則 (SNUR) を追加することを公表した。対象物質及び用途は下記のとおり。

- ・ エチレングリコールジメチルエーテル (モノグリム, CASRN 110-71-4) : 消費者製品への使用を禁止
- ・ ジエチレングリコールジメチルエーテル (ジグリム, CASRN 111-96-6) : 消費者製品への使用を禁止
- ・ 1, 2-ジエトキシエタン (エチルグリム, CASRN 629-14-1) : 消費者製品への使用を禁止
- ・ ジエチレングリコールジエチルエーテル (エチルジグリム, CASRN 112-36-7) : 消費者製品への使用を禁止 (除外用途 : inks, coatings and adhesives, and as a component of paint/graffiti removers)
- ・ トリエチレングリコールジメチルエーテル (トリグリム, CASRN 112-49-2) : 消費者製品への使用を禁止 (除外用途 : solvent in consumer adhesives, in brake fluid, component of consumer paint/graffiti removers, and in consumer paints)
- ・ ジエチレングリコールジブチルエーテル (ブチルジグリム, CASRN 112-73-2) : 消費者製品への使用を禁止 (除外用途 : inks, coatings and adhesives, and as a component in soldering compounds)
 - ・ トリエチレングリコールジブチルエーテル (ブチルトリグリム, CASRN 63512-36-7) : 使用禁止

【2014/12/10】

- ・ Certain New Chemicals; Receipt and Status Information

→

<https://www.federalregister.gov/articles/2014/12/10/2014-28944/certain-new-chemicals-receipt-and-status-information>

米国EPAは、有害物質規制法 (TSCA) の届出状況について公表した。

●EICネット：環境情報センター

【2014/12/09】

- ・アメリカ環境保護庁、室内空気質の改善へ主要8団体と協力合意
(発表日：11月24日)
→ <http://www.eic.or.jp/news/?act=view&serial=33592&oversea=1>

米国EPAは、対象団体と協力し、今後3年間で以下の目的のため協力する。

- ・既存および新設される住宅や学校でのラドン低減により、将来の肺ガン死亡を防止する。
- ・住宅や学校の環境要因による喘息への対策を講じ、喘息発作、救急施設の利用などを防止する。
- ・優良事例や政策の推進により、州・自治体の室内空気質向上策を支援し健康被害を予防する。

【NITEケミマガ】をご利用いただきまして、ありがとうございます。

- 【NITEケミマガ】のバックナンバーは、下記HPをご覧ください。
→ <http://www.safe.nite.go.jp/shiryo/chemimaga.html>
- 配信停止をご希望の方は、以下のURLをクリックして下さい。
→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_del.html
- 配信先e-mailアドレスの変更をご希望の方は、以下のURLをクリックして配信停止手続きをしていただき、新たに配信登録をお願いします。
配信停止→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_del.html
配信登録→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_01.html
- ご意見・ご感想・ご要望等は、以下のメールアドレスまでご連絡ください。
chem-manage@nite.go.jp

- ・【NITEケミマガ】の転送、複写は、読者の組織内に対し全文の転送、複写をする場合に限り、自由に行って頂いて構いません。
- ・組織外への公表・転送、商用利用等につきましては、以下のメールアドレスまでお問い合わせください。
→ chem-manage@nite.go.jp
- ・発行元：独立行政法人製品評価技術基盤機構 化学物質管理センター